

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 9 月 28 日 (2006.9.28)

【公表番号】特表 2002-524589(P2002-524589A)

【公表日】平成 14 年 8 月 6 日 (2002.8.6)

【出願番号】特願 2000-568889(P2000-568889)

【国際特許分類】

C 0 8 F 255/00 (2006.01)

C 0 8 F 4/04 (2006.01)

C 0 8 F 4/32 (2006.01)

【F I】

C 0 8 F 255/00

C 0 8 F 4/04

C 0 8 F 4/32

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 8 月 10 日 (2006.8.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 グラフト化ポリマーの製造方法であって、第一工程 A) において、安定なニトロキシルラジカルをポリマー上にグラフト化し、ここで本工程はポリマーおよび安定なニトロキシルラジカル (NO・) を加熱することからなり；

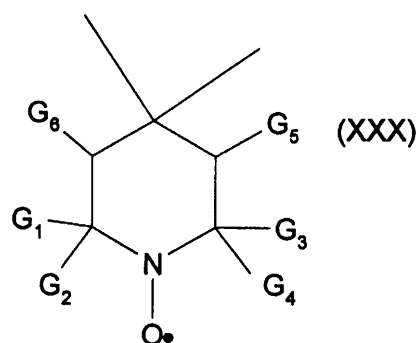
そして第二工程 B) において、

工程 A) のグラフト化ポリマーを、エチレン性不飽和モノマーまたはオリゴマーの存在下で、ニトロキシル - ポリマー結合の開裂が生じそして該エチレン性不飽和モノマーまたはオリゴマーの重合がポリマーラジカルで開始される温度に加熱し、さらなる重合のために前記温度を維持し、そしてその後、60 以下の温度に該混合物を冷却する

方法。

【請求項 2】 前記安定なニトロキシルラジカルは、次式 (XXX)

【化 1】



[式中、

G₁、G₂、G₃、G₄は、独立して、炭素原子数 1 ないし 6 のアルキル基を表すか、または G₁および G₂または G₃および G₄、または G₁および G₂並びに G₃および G₄は、一緒になって、炭素原子数 5 ないし 12 のシクロアルキル基を形成し；

G₅、G₆は、独立して、H、炭素原子数1ないし18のアルキル基、フェニル基、ナフチル基またはC₆₀炭素原子数1ないし18のアルキル基を表す。］で表される構造要素を含む、請求項1記載の方法。

【請求項3】 請求項1の工程A)に従って得られるポリマー性ラジカル開始剤。

【請求項4】 請求項1の方法の工程A}およびB}に従って得られるポリマー。

【請求項5】 a}請求項1の工程A}に従って製造されたポリマー性ラジカル開始剤と

、
b}エチレン性不飽和モノマーまたはオリゴマー
を含む組成物。

【請求項6】 ラジカル重合のためのマクロ開始剤としての、請求項1の工程A}に記載のグラフト化ポリマーの使用。